

週間漁海況情報—第21号

平成22年06月07日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/taffts/sc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H22.6.7）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖でやや離岸、足摺岬沖でかなり離岸している。

黒潮本流の表面水温は、21～25℃台である。

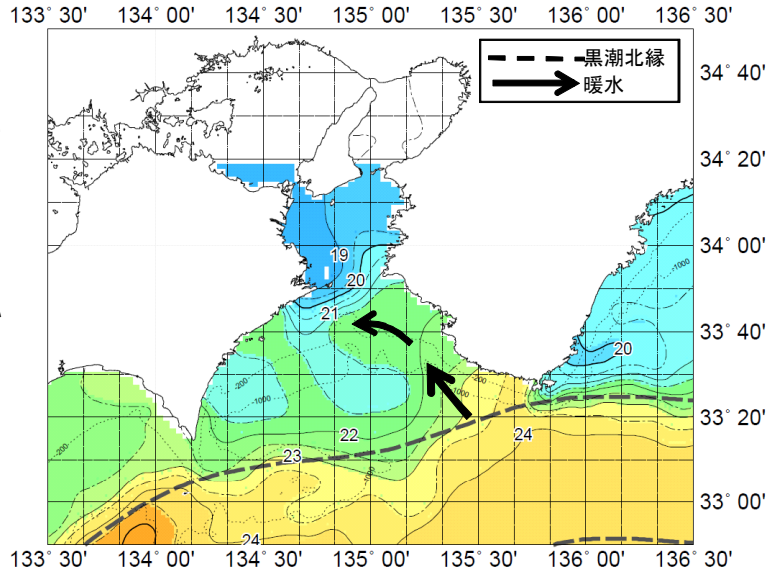
徳島沿岸の表面水温は、播磨灘が17～18℃台、紀伊水道が18～20℃台、海部沿岸が19～21℃台である。

紀伊水道外域では、和歌山県沿岸からゆるやかな反時計回りの暖水流入がある。内海系水と黒潮系暖水との潮境は蒲生田岬南方から伊島周辺を經由して日ノ御崎北方にかけて確認できる。

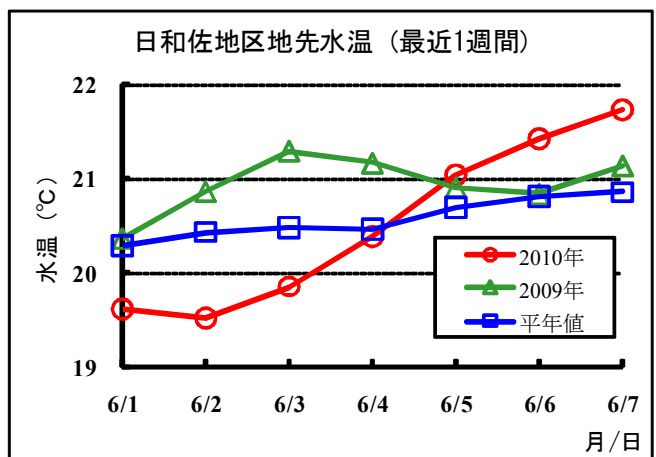
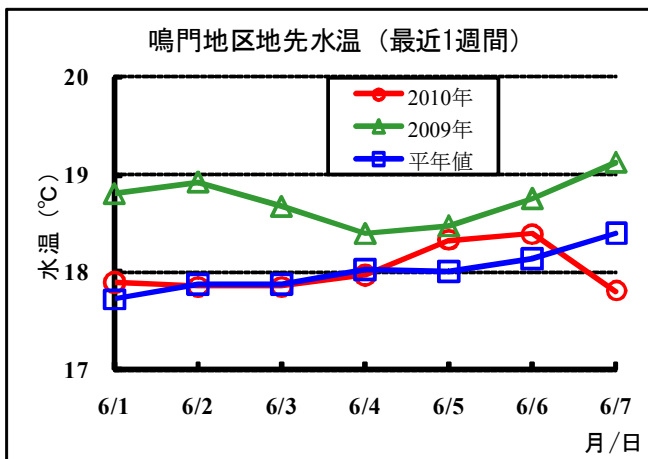
漁業調査船「とくしま」が6月1日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層～10m層で「やや低め」の16.8～17.7℃、20～30m層で「平年並み」の16.1～16.6℃であった。

播磨灘海区観測結果

観測日		水温				塩分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
6/1	今年値	17.7	16.8	16.6	16.1	31.5	31.8	31.9	31.9
	平年偏差	-1.2	-0.6	-0.1	0.3	-0.6	-0.4	-0.4	-0.4
	前年偏差	-2.2	-1.7	-1.4	-1.2	-1.3	-1.1	-1.0	-0.9



地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」～「平年並み」の17.8～18.4℃、日和佐地区は「やや低め」～「やや高め」の19.5～21.7℃、牟岐地区は「やや低め」～「やや高め」の19.8～22.8℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、中主体にアカムツが0.9トン(1日1隻当たり5kg)水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、ウルメイワシが2.9トン(同24kg)、カタクチイワシが4.2トン(同35kg)、キビナゴが0.6トン(同5kg)、トビウオ類が0.4トン(同3kg)、小小主体にマアジが2.0トン(同16kg)、マイワシが4.2トン(同35kg)、マルソウダが0.6トン(同5kg)水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、イワシ類が3.6トン(同324kg)、大・小主体にシイラが0.4トン(同33kg)、中主体にハマチが0.7トン(同64kg)、マメ主体にマアジが1.1トン(同104kg)、大主体にマサバが0.7トン(同64kg)、マルソウダが31.6トン(同2.9トン)水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にマアジが0.3トン(同2kg)、マルソウダが0.6トン(同4kg)、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.5トン(同9kg)水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが84.8トン(同663kg)水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 05月31日～06月06日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	184	891	5	中主体
小型定置網		ウルメイワシ	121	2,901	24	
		カタクチイワシ	121	4,188	35	
		キビナゴ	121	605	5	
		トビウオ類	121	369	3	
		マアジ	121	1,986	16	小小主体
		マイワシ	121	4,228	35	
		マルソウダ	121	640	5	
大型定置網		イワシ類	11	3,562	324	
		シイラ	11	360	33	大・小主体
		ハマチ	11	705	64	中主体
		マアジ	11	1,143	104	マメ主体
		マサバ	11	706	64	大主体
		マルソウダ	11	31,555	2,869	
	釣り	マアジ	139	342	2	大主体
マルソウダ		139	602	4		
紀伊水道		タチウオ	52	467	9	特大主体
パッチ網		シラス	128	84,800	663	

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の18℃台～19℃台前半、日和佐地先は「平年並み」～「やや高め」の21℃台～22℃台前半で推移する見込み。

クラゲ情報：漁業調査船「とくしま」による6月1日のクラゲ調査では、播磨灘でアカクラゲを主体に0.6～1.5個体/m3と多く出現している。6月3日の紀伊水道北部における調査でも部分的にクラゲが多い海域がみられ、播磨灘～紀伊水道北部にかけては操業時に注意が必要。